

継

継承・継続・中継・後継
Kei

日経印刷 CSR アクティブレポート Aug.2017

Vol.4

「俯瞰」

視点を変え、そして全体を視る



「事件です！」

継
Kei

Vol.4

「事件です！」

制作のフロアをドローンが飛んだ。フロア全員が初めての共通体験。いつもは見せない表情やリアクション。フレッシュな驚き「これが噂のドローンか！」。

ドローン直下では想像以上の風圧で、私たちの仕事に付き物の原稿、紙類が宙に舞った。

ドローンが見せてくれる、私たちが自力では見られない世界、鳥瞰の世界。今まで見たことのない世界を見てみよう！とドローンを飛ばしてみた。

デスクの真俯瞰の映像は想像の域を出ることはなかったが、今まで見たことの無いような社員たちの表情が見れた。それが最大の収穫だ。

私たちは日々改善活動を行いながら日々の業務を行っている。気がつかぬうちにマンネリ化しているかもしれない。時々、大きく視点を変え、好奇心と野心と冒険心を失わず諸々チャレンジしていきたいと思う。

「フレッシュな視点」「視点を交える勇氣」を持って日々業務に取り組みたい。



柔らかか頭で新発想

自分の付加価値を 高めよう

ドローンは地上150Mまで上昇できる。

ドローンは目となる撮影用カメラから

リアルタイムの映像をモニターに送ってくる。

「行くよ！」の合図でブーンと上昇。

鳥気分の興奮の中、

冷静にも初めて見る景色への驚きと共に

新鮮な発見の喜びがわき上がる。

俯瞰の意味を体感していた。





「ドローン」語源をひもとくと、蜂の羽音の「低いブーン」の英語表現とも、周波数の低い音とも、未確認飛行物体とも言われている。「ドローン」を飛ばしてみても、正しく俯瞰してみても、俯瞰の意味を再確認することができた。

2017年の経営方針のスローガン「働き方も新発想 個々の付加価値向上で 更なる飛躍を！」

固定概念に縛られると新しい発想は出にくくなってしまいます。「井の中の蛙現象」が、知らないうちに自分の中に蔓延してしまうとそれが普通になり、当たり前になり、ひいてはそれが正解になってしまいます。正解なんていくらでもあるのに、気がつくこと一つの正解に縛られていたり。

全体を見て考える癖を持つと、視野が広がりひらめき力が強くなると言われています。先の見えないゴールも、視点を変えようとゴールが見えたり、ゴールが見えようとゴールへの道筋も、距離も見え、やるべきことが見えてきたり。

俯瞰は新しいアイデアや新しい方法を見出すためだけではありません。人を育てたり、上司の考えていることを先回りしてみたり、自分の学びのポイントが見えてきたり。こうして俯瞰について「いいぞいいぞ」と推す自分に対し、「君は何様やねん」と、顧みる機会も与えてくれます。

兎に角、広い視野で全体を俯瞰し行動して行きましょう。全体最適が死語にならないように。

働き方改革

ワークライフバランス

結婚して、子どもが生まれた

弁当は自分で作り

週末のテニスと山登りも

ほどほどにして

環境の変化に抗わない

岩堀の暮らし方、働き方

第三営業部 第1課
岩堀 豊の場合



バランスという言葉には、「天秤」、「釣り合い」、「均衡」といった意味のほかに、「調和」という意味がある。

「ワークライフバランス」を語る際には、「バランス」を「均衡」ではなく「調和」と捉えなければならぬ。

「均衡」というと、天秤がちゅうど水平を保っている状態を想像する。仕事と私生活、50:50の状態だ。しかし「調和」と考えれば、ほどよく釣り合い、矛盾や衝突のない状態と考えることができる。

人にはがんばって仕事をする時期もあれば、家庭を大事にしなければならぬときもある。その時々状況に応じ調和の取れた時間の使い方ができること。それがワークライフバランスの実現した状態といえるのではないか。

岩堀は語る。

「結婚前は、平日は仕事に没頭し、金曜日の夜からはいい意味で仕事を忘れ、休日は社会人サークルでテニスをするなど、自分の趣味を楽しみました。月曜日の仕事に影響が出ないように金曜日の最後には月曜日に行うべきことはまとめておき、週明けからはまた仕事に没頭する……という毎日でした。思い返せば好きなことを存分に楽しみ、非常に充実していたのだと思います。当時は自分のために仕事をするような感覚でしたが、結婚、子育てと環境が変化することで生活のために時間を使う感覚になりました。実家を離れ、新しい生活としてのスタートでしたので、多少の戸惑いもありながら今に至っています。続けていた趣味は前ほどとはいきませんが、ほどほどに楽しむことにシフトしています。結婚やマイホーム関係は若干落ち着きましたが、



育児に専念する嫁をいたわり、弁当ぐらいは自分で作ろう!と、週5日せっせと弁当を作る。簡単なことではないと思う。習慣化するまで継続してきたからこそ、楽しんで弁当づくりの話が出来るのだろう。一念発起、弁当づくりを計画し3日坊主でチャンチャン。そんな方も多いのでは……。気持ちとは裏腹に、なかなか継続は厳しい。習慣化、生活のルーチンとなるまで続けたいものだ。

子育ては真っ只中。奥さん任せで頭が上がりません。やるべきことも多く落ち着かない日々です。自分自身、正直変わりすぎて今現在は余裕がまったくありません。それでも子供を持つ親となり、まさか自分がこんなに子供に対してプレッシャーになるとも思わず、自分の意識が変わった気がします。

これからは仕事の役割も社歴を重ねることに変わりつつあり、プライベートもこれまでのように自由が利かないこともありますが、息抜きをうまく見つけていきたいと思っています。根詰めてもいいことないですし、文字通りよいバランスを模索しています。仕事もこれまで以上に活躍できるように頑張りつつ、子どもの成長も楽しみつつ、両親のようなあたたかい家庭を築いていきたいと思っています。

環境の変化に合わせて自分自身も変わっていく。

そうやって調和を図るのがワークライフバランスなのだろう。



ママさん社員が**安心**して働ける
職場環境をつくりたい

必要としてくれるひとのために できることは何でもする

何事にもコツコツ取り組む性格もあり、入社時に総務への配属を希望。多彩で広範な総務の仕事のうち、現在は雇用保険、健康保険等の手続きや社員の勤怠管理、社内行事の運営や社内報の企画運営などを担当しています。総務の業務に影響する法律は頻繁に改定されるため、行政機関への問い合わせやセミナーへの参加は欠かせません。最近ではマイナンバー検定を受験するなど、常に正しい知識をいち早く吸収することを心がけています。

総務はすべての社員と接する部署であり、年間で決まった業務を遂行するのと並行して日々さまざまな社員、部署から依頼が舞い込みます。依頼はすぐに対応しなければならぬものもあるので、常に優先順位をつけること、後輩社員がいつでも見返せる資料をつくり常に情報共有しておくことを意識して、日々の業務に取り組んでいます。

総務の仕事は社員が安心してスムーズに仕事ができるように環境を整えることだと思っています。

私自身が育児休業から復職し、現在は時短勤務をしていることもあって、仕事と子育ての両立をめぐす女性や、傷病によって休職を余儀なくされる社員の方々に対して、少しでも早く申請手続きをしてあげたいという思いが強くなりました。最近では同じママ社員が集まって育児や仕事の悩みや情報交換をする場として、3ヶ月に1度のミーティングもスタートしました。今後も、復職を希望する女性社員の気持ちに寄り添える存在でありたいと思っています。



管理本部 総務部 総務課
神郡 美穂





「間違えてない
当たり前を守る責任感」という

営業の気持ちを理解する 「裏方」という名の主役

請求書の発行、入出金の管理から、原価計算、コストの集計まで、企業におけるお金の流れを管理する経理を担当しています。お金を扱うので、間違えがないことが当たり前前。わずかなミスが大きな損害につながってしまうこともあるので、セルフチェックだけでなく第三者による確認も併せて行うことで、正確な仕事を追求しています。併せて経理部には先輩方から引き継がれた手順書があり、定期的にメンテナンスし更新することで標準化を図っています。また経

理の仕事は、健全な経営を進めるうえでの判断材料となる情報を発信していく仕事であり、経営陣の方々とコミュニケーションが欠かせない部門です。社長をはじめとする役員の方々が同じフロアにいらっしゃるのでスムーズな連携が図れることも、日経印刷ならではの特長だと思います。

私は入社後、3年間は営業として勤務。その後、裏方として影から支える管理部門の仕事に魅力を感じ経理への異動を希望しました。日々の業務では月次業務と合わせ

て、営業から請求書の発行など突如の依頼を受けることもありますが、営業の活動内容と苦勞を知っているからこそ、優先的に対応するようにしています。営業の「こうしてほしい」という思いに応えられるのも、他部署を経験したからこそその利点だと感じています。それまで経理を学んだことがなく、異動後に簿記資格を取得。それから6年が経過しましたが、月に1冊経理関連書籍を読むことをノルマとして、一層の知識習得に努めているように思っています。



管理本部 経理部 経理課
半田 みずき

「安心」の見張り番



信頼獲得の大前提は、 お客様の情報資産を守ることに

社員が使用するメールやウェブサーバー、社内の業務データを管理する基幹システムサーバー、お客様とデータのやり取りを行うファイルサーバーなど、ネットワークシステムの保守・運用管理、社員の方々のPCに関する問い合わせ対応を行っています。各種サーバーを定期的に点検するなかで障害がある場合にはその原因を探り、変更を加えることで最適化を図っています。社内業務を根幹から支えるという大きな責任を担うなかで私が常に意識しているのは、小さな違和感を決してそのままにしないこと。システムの不具

合はそのまま業務に影響するので、「ちょっと気になる」といった小さな予兆を見逃すことなく、摘み取ることを心がけています。私は、2015年に入社するまでの7年間、ITの技術的な仕事で4年間、その後、情報セキュリティに関するコンサルティングを3年ほどしていました。ウイルスなどウェブからの脅威に対してセキュリティ管理を徹底することは、自社だけでなくお客様の資産を守ることにもつながります。日経印刷と安心してお取り引きいただくために、感染リスクの低いシステムを保持すること、社員の方々に対

して定期的に情報発信を行うことで、セキュリティ強化に努めています。

日進月歩で変化するIT業界において、知識のアップデートは必須です。情報セキュリティマネジメント試験に加えて、今後はマイクロソフト認定プロフェッショナル(MCP)認定試験への勉強を続けることで業務のさらなる円滑化に繋がるよう努め、お客様からの信頼獲得に貢献していきたいと思っています。また、社員の方々の働き易さに繋がるICTについても考えていきたいと思っています。



管理本部 情報システム部 システム管理課
藤原 倫子

バリューチェーン

チエーン？

チエーン？

既読 436
午前 8:56

出た、親父ギャグ。それ言いただけなんですよ、本気で知りたいんですか？
なんか今回はちょっとトレンドじゃないですか。勉強してんすか？

既読 436
午前 9:05

バリューチェーン (Value Chain) とはマイケル・ポーターの著書『競争優位の戦略』の中で用いた言葉。「価値連鎖」のことです。

既読 436
午前 9:09

もう、ボケるんならやめますよ！
そんなしていると、若い連中に面倒くさがられますよ……。
でね、ポーターが言うには、購買した原材料などに対して、各プロセスで価値（バリュー）を付加していくことが企業の主活動であるという考え方です。

既読 436
午前 9:15

バリューチェーンは商品がお客さまに届くまでの間にどこでどれだけ価値が生み出されていくかということです。

既読 436
午前 9:19

ポーターはバリューチェーンを主活動と支援活動に分類しています。主活動は購買物流、製造、出荷物流、マーケティング、販売、サービスからなり、支援活動は企業インフラ、人材資源管理、技術開発、調達から構成されていると……

既読 436
午前 9:21

サプライチェーンは商品がお客様に届くまでの流れのこと！！

既読 436
午前 9:34

くっつ、このヴォルデモートめ……。

北川さあ、最近 CSR で何とかチェーンとか多くね？

午前 8:52

あのさ、サプライチェーンとかバリューチェーンとか何なのよ？ お客も理解してるの？ うちの制作もわかってる？

午前 8:52

チェーン、チェーンわかりまチェーン

午前 8:52

チェーン、チェーンしてまチェーン
知りたいのは、本気に本気ですよ。

午前 8:55

ちょっと目を離すと、新しいトレンドが

午前 8:57

吉田カバンがカチカチ山？

午前 9:08

主活動の構成要素の効率を上げるか、競合他社との差別化を図ることで企業の競争優位性は確立するというアレだな……、

午前 9:14

ふ～ん、相変わらずよく勉強してるね。関心関心！

午前 9:16

で、サプライチェーンは？

午前 9:20

ふ～ん。なるほどね、ポーター君の言う通りだ。

午前 9:22

それはハリー・ポッターや！ いや、それは、髪の毛の話か……!?

午前 10:46



真っ直ぐなモノづくりで

「出版」という文化事業を支え50年

それは、これからも変わらぬ

わたしたちの基本スタイル

「印刷」による社会への貢献を

真っ直ぐに貫いていきたい